

以下の通り訂正いたします。

正誤箇所	対応	誤	正
P24	誤植修正	・Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていること	・Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていること
P26	追記	インストールするコンポーネントを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。	インストールするコンポーネントを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。 ※Apache HTTP Proxy を選択してインストールすると、インストールされたApache HTTP Proxy を ESET 製品がプロキシサーバーとして利用するポリシーが作成され、既定でESMCで管理されるすべてのコンピューターに割り当てられます。不要な場合はApache HTTP Proxyのチェックを外してインストールしてください。
P28	誤植修正	※ Windows Server 2008 R2 以降のサーバーに「Microsoft .NET Framework 3.5」をインストールする場合は、サーバーマネージャーの機能の追加より実施してください。	※「Microsoft .NET Framework 4」をインストールする場合は、サーバーマネージャーの機能の追加より実施してください。
P31	追記	①[製品認証キーでアクティベーション]を選択し、テキストボックスに製品認証キーを入力後、[次へ]ボタンをクリックします。	①[製品認証キーでアクティベーション]を選択し、テキストボックスに製品認証キーを入力後、[次へ]ボタンをクリックします。  !重要 「ESET PROTECT Essential Plus オンプレミス」「ESET PROTECT Advanced オンプレミス」のご契約の場合、[後からアクティベーション]を選択し、インストール完了後に「ライセンス管理」画面よりESET Business Accountをライセンスとして登録してください。詳細は、「18.15.5 ライセンス管理」を参照してください。
P31	削除	ワンポイントインストール時にアクティベーションを行う場合は、手順11の操作を行います。 [後からアクティベーション]を選択した場合のアクティベーションの詳細については、「8.9.2 新しいクライアントタスクの作成」または「8.9.16 製品のアクティベーション」を参照してください。	削除
P33	追記	MDM ホスト名にサーバーのホスト名を入力する場合は、接続するモバイルデバイスが入力したホスト名の名前解決を行える必要があります。	MDM ホスト名にサーバーのホスト名を入力する場合は、接続するモバイルデバイスが入力したホスト名の名前解決を行える必要があります。  IOS13以降を管理する場合、接続要件として、IPアドレスではなく名前解決できるホスト名(FQDN)を入力する必要があります。
P37	誤植修正	・Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていること	・Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていること
P40	誤植修正	※ Windows Server 2008 R2 以降のサーバーに「Microsoft .NET Framework 3.5」をインストールする場合は、サーバーマネージャーの機能の追加より実施してください。	※「Microsoft .NET Framework 4」をインストールする場合は、サーバーマネージャーの機能の追加より実施してください。
P41	追記	MDM ホスト名にサーバーのホスト名を入力する場合は、接続するモバイルデバイスが入力したホスト名の名前解決を行える必要があります。	MDM ホスト名にサーバーのホスト名を入力する場合は、接続するモバイルデバイスが入力したホスト名の名前解決を行える必要があります。  IOS13以降を管理する場合、接続要件として、IPアドレスではなく名前解決できるホスト名(FQDN)を入力する必要があります。
P61	追記	①[製品認証キーでアクティベーション]を選択し、テキストボックスに製品認証キーを入力します。	①[製品認証キーでアクティベーション]を選択し、テキストボックスに製品認証キーを入力します。  !重要 「ESET PROTECT Essential Plus オンプレミス」「ESET PROTECT Advanced オンプレミス」のご契約の場合、[後からアクティベーション]を選択し、インストール完了後に「ライセンス管理」画面よりESET Business Accountをライセンスとして登録してください。詳細は、「18.15.5 ライセンス管理」を参照してください。
P80	追記	MDM ホスト名にサーバーのホスト名を入力する場合は、接続するモバイルデバイスが入力したホスト名の名前解決を行える必要があります。	MDM ホスト名にサーバーのホスト名を入力する場合は、接続するモバイルデバイスが入力したホスト名の名前解決を行える必要があります。  IOS13以降を管理する場合、接続要件として、IPアドレスではなく名前解決できるホスト名(FQDN)を入力する必要があります。
P100	誤植修正	MySQL 8.0 の場合は、mysql-connector-odbc Ver.8.0.18 をインストールします。	MySQL 8.0 の場合は、mysql-connector-odbc Ver.8.0.17 をインストールします。
P103	誤植修正	「MySQL8.0」の場合は、mysql-connector-odbc-8.0.18 をインストールします。	「MySQL8.0」の場合は、mysql-connector-odbc-8.0.17 をインストールします。
P129	追記	--mdm-hostname にコンピューター名を設定する場合は、接続するモバイルデバイスが設定したコンピューター名の名前解決を行える必要があります。	--mdm-hostname にコンピューター名を設定する場合は、接続するモバイルデバイスが設定したコンピューター名の名前解決を行える必要があります。  IOS13以降を管理する場合、接続要件として、IPアドレスではなく名前解決できるコンピューター名(FQDN)を入力する必要があります。
P401	誤植修正	テーブルを表示する場合は「表示テーブル」のチェックボックスを「オン」にし、グラフを表示する場合は「グラフの表示」のチェックボックスを「オン」にします。	テーブルを表示する場合は「表示テーブル」のチェックボックスを「オン」にし、グラフを表示する場合は「グラフの表示」のチェックボックスを「オン」にします。
P401	誤植修正	「表示テーブル」のチェックボックスをオンにすると、情報を行と列で表示するテーブルを表示します。「グラフの表示」のチェックボックスをオンにすると、X軸とY軸を使用してデータを表示するグラフを表示します。	「表示テーブル」のチェックボックスをオンにすると、情報を行と列で表示するテーブルを表示します。「グラフの表示」のチェックボックスをオンにすると、X軸とY軸を使用してデータを表示するグラフを表示します。
P571	誤植修正	ESET Business Account- サイトアカウント EBAユーザーにEBAアカウントの会社アクセスで読み取りまたは書き込み権限が付与されている場合、アカウントの同期時にすべてのライセンスがインポートされます。	ESET Business Account- サイトアカウント EBAのサイトアカウントは日本ではご使用いただけません。
P573	追記	ESET Business Accountのライセンスを追加するときは、「ライセンス管理」画面で[ライセンスの追加]をクリックして「ライセンスの追加」画面を表示し、ESET Business Account資格情報を入力して、ライセンスの追加をクリックします。	ESET Business Accountのライセンスを追加するときは、「ライセンス管理」画面で[ライセンスの追加]をクリックして「ライセンスの追加」画面を表示し、ESET Business Account資格情報を入力して、ライセンスの追加をクリックします。  ESET Business Account (EBA) におけるライセンス管理や各種機能をご利用になるには、「ESET PROTECT Essential Plus オンプレミス」「ESET PROTECT Advanced オンプレミス」「ESET Dynamic Threat Defense」のいずれかの契約が必要です。
P574	追記	製品認証キーを使用して、アクティベーションを行います。同様の操作で、新しいライセンスの追加を行うことができます。	製品認証キーを使用して、アクティベーションを行います。同様の操作で、新しいライセンスの追加を行うことができます。  !重要 「ESET PROTECT Essential Plus オンプレミス」「ESET PROTECT Advanced オンプレミス」「ESET Dynamic Threat Defense」のご契約の場合、製品認証キーではなくESET Business Accountをライセンスとして追加してください。
P603	追記	MDM 証明書を作成するときは、MDM ホストデバイスのIPアドレスまたはホスト名を入力します。「* (アスタリスク)」は、MDM 証明書では使用しないでください。	MDM 証明書を作成するときは、MDM ホストデバイスのIPアドレスまたはホスト名を入力します。「* (アスタリスク)」は、MDM 証明書では使用しないでください。  IOS13以降を管理する場合、MDM証明書のホストにIPアドレスではなく名前解決できるホスト名(FQDN)を入力する必要があります。